奥会津三島町　棚田の園長

八木隆太です！

毎日、鍬と弁当と草刈り機を携えながら、
里山の棚田を自転車で巡回します。

「 我が子を育てるようにお米を育てたい 」

お米の一生はたった一年。
もし、お米が自分の子どもだったら、自分の手で植えてあげたいでしょ。
自分の子どもに頭から薬かけないでしょ。
小学生で苦手なお友達がクラス（田んぼ）にいても、共存する工夫と努力を教えるでしょ。
子どもが他の子を苦手、キライと言っても、その雑草のような相手をたしなめることはしても除草剤で殺さないでしょ。
もし一生がたった一年だと分かっていたら、１日でも長く太陽の明るい日差しを見せてあげたいでしょ。
苗は稲の子ども。
この子たちは足が無いので遠足に行けません。
田んぼの水が冷たければ風邪もひきますし、死んでしまうこともあります。
風が入らなければ空気が滞留し、いもち病などの伝染病にかかるので、田んぼの草刈りはこまめにやります。
高齢で農業頑張っている方でも引退の日は来ます。その理由は草刈りが出来なくなるからです。
田植えや稲刈りは機械でも出来ますが、７ｍの斜面がある棚田の草刈は、まだ当面手作業です。
東京ドームと同じ面積の草刈を、毎日コツコツを行います。
健やかに幸せにお米を育てるのは、一人ではなかなか苦慮します。
田んぼの暖かい水に手や足を添えていただきたい。
それが棚田の園長さんから皆さんへのささやかな願いです。

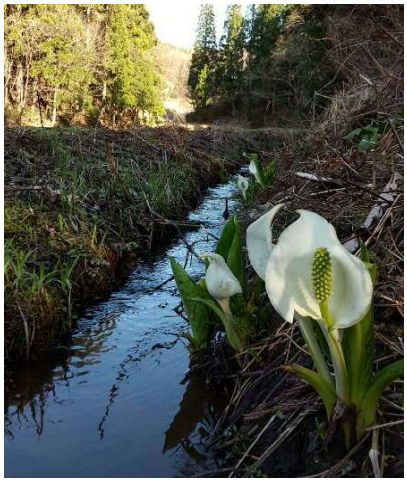
奥会津三島町の棚田です！

冬は３ｍ以上雪が積もります。

刈り取った雑草の堆肥を使います。
動物性肥料肥料は使いません。

冬に陥没したところを平らにならし、畦の整備と側溝の掃除、田植の準備を
ヒタヒタとしていきます。

水芭蕉が咲きました。



ミネラルを沢山含んだ山の湧き水（雪解け水）が田んぼに入ってきた瞬間は感動します。

いよいよ田植えです！

田植えの後２週間は田んぼの水が
冷えないように気をつけます。

薬を使わず、ころばしで田んぼの生態系を守ります！

ころばしの目的は、田んぼの中のヒエ取り、田んぼの中の雑草の根切り、そして田んぼの土の中に空気を入れることです。
田んぼの中が淀まずに、風通しを良くすることで、農薬を使わなくとも、いもち病などが発生せずに、田んぼの生態系も守られるので、おたまじゃくし、アメンボウ、カマキリなども生息しています。

ころばし前

ころばし後

ころばし前

ころばし後

手でヒエ取り

草刈り

ひたすら草刈り

棚田は傾斜面が多く、雑草の成長があっという間です。

水の調整

雪深い奥会津の里山は、山から水が絶え間なく湧いてきます。
こまめに田んぼの中の水加減を調整しないと、あっという間に水が溢れてしまいます。

いざ！稲刈り

穂がたれてから2週間は田んぼで追熟させます。
それから天日干しを約１ヶ月。

新米ご予約承ります　11/1発売開始

【浸け置きしなくても炊ける玄米】

お米をといで直ぐに炊けます。
水に浸け置きしなくても柔らかく炊き上がります。

水量をお米の約２倍にして炊くだけ。
今お使いの炊飯器、鍋、土鍋で白米と同じ要領で美味しく炊き上がります。
小さな米粒の中に自然の風味が感じられます。

桐植林地のお米　福島県産 ／会津ひとめぼれ／棚田米

【自然農法、除草剤１回使用】

大自然に育まれた味わい深いお米は、噛むほどにお米の甘さ、旨味を堪能できます。

田んぼは水が命！ミネラル豊富な山の沢水が田んぼを潤します。
棚田は田んぼ一枚一枚が日照時間や土質、水加減が異なり、お米には独特の風味が生まれます。

玄 米	950円／kg　×	kg　＝	円　（税込）
白 米	1000円／kg　×	kg　＝	円　（税込）
送 料	円	合 計	円

お申込	お名前			
	住 所	〒		
	電 話		E-mail	
送り先	お名前			
	住 所	〒		
	電 話			
	お届け日	2020年　月　日（　）	希望時間（　）	

振込先：みずほ銀行 八重洲口支店 普通 ２３３９９３９　カ）グリーンフラッシュ

株式会社グリーンフラッシュ 東京都世田谷区上用賀5-19-10-104　TEL：03-5726-8155

FAX：03-5726-8156